

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	幼児と人間関係				
担当者氏名	白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

保育内容の「人間関係」の指導の基盤となる技能、知識を身に着ける。幼児を取り巻く人間関係の特徴と人と関わる力の育ちの意義を理解するとともに、幼児の自立心や共同性、道徳性・規範意識の芽生えなどを身近な大人や保育者との関係、幼児同士の関係、集団の中での育ちの場面から考察する。

《授業の到達目標》

1. 幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景を分析する。
2. 幼児の人と関わる力の育ちについて説明する。
3. 幼児の自立心や協同性、道徳性・規範意識の芽生えの姿を説明することができる。
4. 幼児の人と関わる力の育ちを、身近な大人や教師、幼児同士等の関わりの場面から説明することができる。

《成績評価の方法》

定期テスト40%
 平常点（発表、授業態度など）20%
 提出物（プリント、課題、レポート）40%

《テキスト》

プリント等を適宜配布する。

《参考図書》

幼稚園教育要領解説（平成30年3月告示 文部科学省）フレーベル館
 保育所保育指針解説（平成30年3月月告示 厚生労働省）フレーベル館
 幼稚園連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）フレーベル館

《授業時間外学習》

提示した課題に対して、次回までに調べたり、動画を見て予習をおこなう。
 提示した課題を作成し、提出する。

《備考（教員経験の有無）》

保育士、幼稚園教諭、保育教諭として勤務した経験がある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	領域「人間関係」 基本的な理解①	領域「人間関係」の基本的理解と保育者の役割
2	領域「人間関係」 基本的な理解②	領域「人間関係」の目的、ねらい、内容
3	人間関係 - 発達と社会 -	幼児期における人間関係の発達と社会の関わり
4	人間関係 - 個と集団 -	幼児期の遊びや生活における個と集団の育ち
5	人間関係 - 広がり -	幼児期の人間関係の広がり
6	人間関係 - 家庭や地域とのつながり -	幼児と園と家庭・地域とのつながり
7	人間関係 - 遊びや生活 -	園での生活と遊びから見える人間関係
8	1～2歳児の事例考察	1～2歳児の事例からみた幼児期の自立心の育ちと保育の実際
9	3歳児の事例考察	3歳児の事例からみた幼児期の自立心の育ちと保育の実際
10	4～5歳児の事例考察	4～5歳児の事例からみた幼児期の協同性の育ちと保育の実際
11	6歳児の事例考察	6歳児の事例からみた幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと保育の実際
12	国際化の課題	「人間関係」における国際化の課題
13	安全教育	「人間関係」における安全教育
14	小学校との連携	小学校「生活科」と「人間関係」の関係
15	授業の総括	授業の振り返りまとめ